

事業計画書 損益予算書

令和2年度
(第11期)

自 令和2年4月 1日
至 令和3年3月31日

一般社団法人日本流行色協会

101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-2-31 ヒューリック神保町ビル 6F
TEL. 03-5275-1016 FAX. 03-5275-1017

令和2年（2020年）度事業計画

日本流行色協会は、「Color Makes Value」を掲げ、新たな価値を生み出すための色彩活用に関するトレンド提案、教育、会員との共同調査、研究、イベント等を行っております。

近年、世界各地で大規模な自然災害が起こっています。その原因が地球環境の汚染にあり、若い人たちによる、世界規模で対策に本腰を入れるべきだという運動が大きなニュースになりました。自然環境を維持するために、或いは技術力で自然を回復するために何ができるか。産業は構造改革を、消費者はゴミを出さないためにライフスタイルを変えようという意識が高まっています。モノを持たずにシェアするというライフスタイルも循環型経済を実現するために一役果たすでしょう。センサーや人工知能が配置された環境に暮らす私たちは、スマートなデザインよりも人間味のあるデザインを求めるようになります。手触り、香り、味覚など、私たちは身体感覚で感じる心地良さが暮らしに求められるようになるでしょう。このような時代には、色彩、素材、表面、形（CMF）デザインがますます重要な役割を果たします。

単にモノを作って売る時代は過ぎ去り、消費者がモノづくりに参加する時代を迎えています。色彩、素材、表面、形は人の心を動かすために、コミュニケーション手段としてデザインされます。

そこで本年度 JAFCA は、会員との協業による CMF デザインの研究開発や、それに伴うワークショップを開催する等、CMF に関わるビジネスをつなぐプラットフォームとしての役割を担う活動をしていく所存です。

今後も是非、日本流行色協会の活動にご参加いただき、会員の皆さまと共に新しい価値を生み出すことができれば幸いです。

2020年度事業計画の重点項目

1. 会員と未来を担う学生と、同じテーマを考えるワークショップを開催。
2. 会員間の共通の課題解決に向けた研究会、ワークショップの実施。
3. 会員個別のコンサルティング、色彩教育、セミナー企画、実施。
4. 会員同士が交流、新たな価値を発見するためのイベント企画、実施。

2020年度継続事業

1. カラートレンド情報事業

(1) 部会運営

○プロダクツ・インテリア部会、レディスウェア部会、メンズウェア部会、それぞれ参加を希望する会員が集まり、今後のデザインの動向について意見交換をする。

○JAFCAカラー活用方法を解説するセミナーの実施。

(2) カラートレンド情報

- 部会ごとに先行市場に向けたカラートレンド情報を発表。
 - ・必要とされるカラーパレット情報内容を検討。電子媒体によるタイムリーな情報発信の可能性を探る。
- 過去情報の検索機能、検討、実施。
- 調査結果を分かりやすく発信。

(3) 委員会・分科会・研究会運営

- 2020年11月、インターカラー国際会議を日本で開催
- 化粧品分科会、自動車色彩分科会は、見学会、セミナー、ワークショップを企画開催
- U.Ge カラーデザイン研究会（旧：高齢者を元気にする研究会）。
 - ・U.Geの目的「50歳以上の世代に向けたCMFデザインを充実させることで高齢化社会を活性化する」に基づいて社会活動一貫として、共同研究、ワークショップ、発表を行う。
 - ・インタビュー調査、街頭調査を継続、その結果を反映したU.Geカラーの選定・発信。
 - ・活動目的に賛同する会員を募集、業種の幅を広げる。

2. 出版事業

- 季刊『流行色』誌の内容検討
 - ・編集体制の強化
- 色彩ベーシックコーステキストの出版

3. 研修会事業

- ・カラーデザインセミナー：先行開発を行う会員に有用な情報を発信。
- ・カラートレンド分析セミナー：実市場で使いやすいカラーを解説。
- ・色彩講座ベーシックコース：色彩活用のための基礎知識 年2回 東京開催。
- ・センサリーデザインセミナー：CMFデザインを含む感覚に訴えるデザインについて伝えるセミナーや見学会、勉強会を開催。
- ・新規セミナー「プレゼンテーション、資料作成に役立つカラー表現」実施。
- ・JAFCAセミナー：その年に注目されるテーマに関するワークショップを実施。
- ・「U.Ge カラーデザイン研究会」の活動成果をセミナーで、一般に発表。

4. オートカラーアワード事業

- ・カラーデザイナーの研鑽・発表の場として、活動の強化を図ると共に、今後の業界を担っていく学生の参加を拡充する。
- ・自動車のCMFに対するカラーデザイナーの取り組みを紹介する場を増やす。
- ・広報・PRの一部を外部へ委託し、媒体への露出を企画し認知度を上げる。

5. 指導監修事業

- 会員個別の要望に応じたコンサルティング、セミナー、色彩講座、ワークショップの企画、実施。

- (1) 色彩の基礎知識
 - ・会員が必要とする色彩の知識を伝えるセミナー、ワークショップ企画実施、講師派遣
 - (2) 色彩情報の収集、整理、分析
 - ・商品の色彩管理、市場動向分析、課題抽出と解決案
 - (3) 創造力増強プログラム
 - ・時代の変化に対応するためのカラーデザイン新発想強化プログラム
 - (4) 色彩戦略
 - ・先行市場に求められるデザイン要素抽出、CMF デザイン戦略
 - ・ディレクションカラー選定、カラー戦略立案など。
 - (5) デザイン開発
 - ・コンセプト、デザイン表現、プロトタイプ制作等、外部デザイナーと連携
- 大学、専門学校等への出講・講師派遣
- ・学生向けにカラーの重要性、カラートレンドの意義等について啓蒙活動。
- 共催セミナー、他団体へ講師派遣

6. 海外トレンド情報収集活動

※コロナウィルスの感染状況に応じ臨機応変に対応する。

- (1) ミラノサローネ、インターカラー等、デザインやカラーに関する国際イベントへの参加・視察。
 - ・インターカラー（国際流行色委員会）：
 - 2020年5月デンマーク、コペンハーゲン、11月日本、東京で開催
 - ・ミラノサローネ：6月外部旅行会社とのコラボレーションによる見学ツアーを実施。その後詳細セミナーを開催。
- (2) 海外展示会やコレクションの取材を外部へ依頼、季刊誌「流行色」、セミナーで報告。

7. 広報活動・会員勧誘活動

- 「今年の色・来年の色」
 - ・2020年11月16日（いい色の日）に「2021年の色」を発表。
 - ・2020年12月「2020年を象徴する色」を広く一般から募集、発表
 - ・「2021年の色」を活用した商品企画等、企業とのコラボレーションによる商品開発
- 専門委員、他団体との連携により、色彩の重要性を広める
- JAFCA の認知度を上げる
- ホームページ、SNS 等のプレスリリースサービスを利用した広報活動の強化。
- 常任理事・理事による紹介、会員による紹介により、JAFCA トрендカラー活用者を増やす
- ビジネスや健康における CMF の有用性を伝える場を増やす。

令和2年度 第11期

自 令和 2年4月 1日

至 令和 3年3月31日

令和2年度損益ベース予算書

(単位：円)

科 目	①令和2年度予算額	②令和元年度予算額	増減額①-②	令和元年度決算額
I. 収益の部				
会費収入	41,430,000	43,510,000	▲ 2,080,000	41,405,000
インターカラー日本委員会会費	6,440,000	6,300,000	140,000	6,440,000
化粧品分科会費	2,700,000	2,640,000	60,000	2,700,000
自動車色彩分科会会費	1,680,000	1,620,000	60,000	1,680,000
新規研究会会費 (U. Ge研究会)	600,000	1,200,000	▲ 600,000	600,000
インターカラー事業収入 (2022AW日本開催)	1,800,000			
オートカラーアワード事業収入	10,500,000	9,150,000	1,350,000	10,226,750
研修会事業収入 (セミナー事業)	7,550,000	7,000,000	550,000	6,577,650
指導監修事業収入 (コンサルティング事業)	12,830,000	12,700,000	130,000	14,585,666
出 版 収 入	120,000	120,000	0	144,104
購 読 料 収 入 (「流行色」購読料)	10,200,000	10,400,000	▲ 200,000	9,452,806
広 告 料 収 入	880,000	360,000	520,000	327,000
60周年事業収入	10,000	10,000	0	3,114
雑 収 入 (その他の事業収入・受取利息含む)	140,000	140,000	0	151,030
当期収益合計	96,880,000	95,150,000	1,730,000	94,293,120
前期繰越利益剰余金	10,032,266	7,879,668	2,152,598	7,879,668
合計	106,912,266	103,029,668	3,882,598	102,172,788

(単位：円)

科 目	①令和2年度予算額	②令和元年度予算額	増減額①－②	令和元年度決算額
Ⅱ. 費用の部				
1. 事業費				
インターカラー日本委員会事業費	4,800,000	5,080,000	▲ 280,000	4,392,125
化粧品分科会事業費	2,500,000	2,380,000	120,000	2,682,385
自動車色彩分科会事業費	750,000	800,000	▲ 50,000	714,073
新規研究会事業費 (U. Ge研究会)	200,000	400,000	▲ 200,000	35,931
インターカラー事業費 (2022AW日本開催)	2,800,000			
オートカラーアワード事業費	8,000,000	7,900,000	100,000	7,965,144
研修会事業費 (セミナー事業)	2,600,000	2,490,000	110,000	2,436,366
指導監修事業費 (コンサルティング事業)	3,400,000	2,380,000	1,020,000	3,277,267
出版事業費	20,000	20,000	0	0
季刊誌 製作費 (「流行色」購読料)	10,000,000	11,300,000	▲ 1,300,000	9,064,433
広告制作費	0	10,000	▲ 10,000	0
トレンドカラーサンプル製作費	5,000,000	5,900,000	▲ 900,000	4,831,070
広報普及費	2,200,000	2,040,000	160,000	2,112,596
調査研究費	380,000	260,000	120,000	387,150
60周年事業費	10,000	10,000	0	1,848
事業費 計	42,660,000	40,970,000	1,690,000	37,900,388

(単位：円)

科 目	①令和2年度予算額	②令和元年度予算額	増減額①－②	令和元年度決算額
2. 管理費				
人件費	32,000,000	31,900,000	100,000	30,854,349
福利厚生費 (法定福利費を含む)	4,800,000	5,100,000	▲ 300,000	4,652,487
退職給付費用	1,500,000	1,800,000	▲ 300,000	1,466,829
支払報酬	450,000	350,000	100,000	389,600
諸会費	290,000	290,000	0	290,000
支払手数料	290,000	290,000	0	236,639
事務所賃借料	10,800,000	10,130,000	670,000	10,128,226
会議費	850,000	900,000	▲ 50,000	820,620
事務費	3,800,000	3,930,000	▲ 130,000	3,551,741
修繕費	30,000	30,000	0	0
渉外費	40,000	40,000	0	9,914
租税公課	1,370,000	1,370,000	0	1,680,750
減価償却費	670,000	670,000	0	87,979
雑費	10,000	10,000	0	1,000
法人税等	70,000	70,000	0	70,000
管理費計	56,970,000	56,880,000	90,000	54,240,134
3. 予備費	0	0	0	0
当期費用合計	99,630,000	97,850,000	1,780,000	92,140,522
当期損益	▲ 2,750,000	▲ 2,700,000	▲ 50,000	2,152,598
次期繰越剰余金	7,282,266	5,179,668	2,102,598	10,032,266